

東地協ニュース 2003.冬 第2号



入会を歓迎いたします

副会長 早田 守 廣

昨年の2月頃に前任者の後任として副会長に就任して約2年が経ちました。この間、2回の通常総会や技術フォーラムを経験させていただきました。協会理事として参画させていただく前は、一般会員として協会行事に任意に参加しておりました。この時の印象は当協会が関東地質調査業協会の下部組織という認識が先立っておりましたので、何となく小さな組織に映りました。ところが協会内部の一員として参加してみますと、各委員会活動も活発であり、技術ノートという立派な出版物も定期的に発行しており、さらに官公庁へのPR活動や啓蒙活動も積極的に行なっていることがわかりました。事務所も思ったより立派？（関東地質調査業協会と共用であるが）であり、交通の便も比較的良い所に位置していることがわかりました。協会内部で働いている委員の方は、基本的にはボランティア活動？ではないか（忙しい業務の間を縫って積極的に奉仕していただいているのが現状ではないか）と思います。しかしながら、その活動源は、委員相互の信頼と協力をバネに、会員はじめ都民の皆様のお役に少しでも立てればとの思いではないかと推察いたします。さらに様々な協会活動を通じて、最新の業界情報を得られることや、目に見えない協力関係を構築できることなども大いに関係しているかもしれません。

業界を取巻く環境は厳しいものがありますが、当協会に参加されて協働の喜びを分かち合いませんか。皆様の入会を心からお待ちしております。

会議報告等

1. 11月27日 理事会・全体委員会

(1) 会員の退会について

会員の日建コンサルタンツ株式会社東京支店より、12月末日にて退会したい旨届出があり、これを承認した。

(2) 土壌汚染対策法の指定登録機関について

会員に対するアンケートの結果、4社が未登録となっている。発注先へのPRや新規加入の勧誘の面からも、今後の全社登録が望ましい。

(3) 収支状況について

事業費関係で、展示会が2回あり、防災講演会も2回予定され、今後事業実施にあたり充分留意する必要があることが報告された。

総務委員会活動報告

総務委員会は協会で起こる身近な問題や理事会決裁前の事項検討、収支報告など盛りだくさんの内容・吟味をしています。

委員6名で毎月1回の会合持っています。できればもっと多くの会員に関与していただきたく委員を募集しています。お声がかかった時はぜひ委員会に参画してください。

第4回 8月27日(水)

「東地協ニュース」創刊号について

第5回 9月17日(水)

収支報告及び「都予算案に対する要望」ほか

第6回 10月22日(水)

収支報告及び「首都道路協議会講演会」参加ほか

第7回 11月19日(水)

収支報告及び会員退会報告ほか

第8回 12月12日(金)

収支報告及び「東地協ニュース」編集最終確認他

(総務委員長 佐藤 孝治)

広報委員会活動報告

まず、東地協ニュース創刊号で、秋期(後期)広報活動を10～12月に実施すると申しましたが、技術ノートの発行が平成16年2月中旬の予定なので、広報活動もそれに合わせて2～3月に変更いたしましたことをお詫び申し上げます。ただし、全国標準積算資料(通称赤本)が10月に発行されましたので、赤本配布による広報活動は行いました。

その他の活動は以下のとおりです。

平成15年度第2回広報委員会(9月12日(金)15時～17時)

議 題

1. 春期(前期)広報活動結果について
2. 「防災フェア2003」について
3. 秋期(後期)広報活動について
4. その他

多摩市防災講演会(平成16年1月24日(土)開催予定)の
打ち合わせ

葛飾区防災講演会(平成16年3月17日(水)開催予定)の
打ち合わせ

平成15年度第3回広報委員会(12月12日(金)15時～17時)

議 題

1. 後期広報活動結果について
2. 多摩市防災講演会について
3. 葛飾区防災講演会について
4. その他

(次回の広報委員会は平成16年3月19日(金))

以上が創刊号から本号までの広報委員会活動です。最後に、前回も広報委員会入会をお願いをいたしましたが、現在も募集中ですので、是非ご検討下さい。なお、体験参加だけでも大歓迎です。くわしくは事務局までご連絡下さい。お待ちしております。

(広報委員長 安藤 福二)

技術委員会活動報告

繁忙期を迎えて、技術委員会活動も慌ただしさを増しております。各部会毎のトピックスを報告致します。

1. ノート部会

技術ノート 36号「東京の斜面」は、取材活動・編集作業を経て、最終原稿の段階に入っております。協会として斜面に対する視点をもって技術ノートをつくり上げることに多くの時間を費やしてはりましたが、1月中旬のゲラ、2月下旬には配布の見通しが出来たことをご報告いたします。ご期待いただければ幸いです。

2. 講演部会

メインイベントの一つである「2003 技術フォーラム」は、11月14日（金）に測量地質健保会館（池袋）において、技術発表12編と特別講演「地下水流動保全アセスメントと東京の対策事例」（前東京都土木技術研究所技術部長 杉本隆男氏）をもって盛況に行われました。また、「2003 東京国際消防防災展」（東京消防庁）11月20日（木）～23日（日）が東京ビッグサイトにおいて開催され、協会からは地震および火山関連災害パネル41点を展覧しました。これらについては別に報告記事を掲載しておりますのでご覧下さい。

防災講演会の要請が多摩市（1月24日）と葛飾区（3月17日）から入っており、講演講師の検討と講演依頼、主催者との諸調整等に追われております。

3. 環境部会

土壌汚染対策は、協会皆様にとって大きなビジネスチャンスであります。外部からの土壌汚染の問い合わせに、協会として適切な対応ができる準備を進めております。その際の応答マニュアル作成、また、協会員の皆様にはアンケートを配布させていただきました。

部会としては、この分野での皆様の支援が出来るように努力して参ります。

4. 都建設 CALS/EC 対応部会

「東京都建設 CALS/EC 推進協議会」（建設局企画部）が10月23日（木）に開催され、部会から出席しました。当協会にとっては、電子納品の実施スケジュールが関心事であります。平成15年～平成19年間に、段階を追って年次目標が策定され、全面実施されることになっております。

（技術委員長 大竹 勉）



会員増強特別委員会活動報告

6月に委員会活動をスタートして、当初活動期限の6ヶ月が経過しました。具体的な増強活動としては、元会員である大手コンサルタント会社や、多摩地区の地質調査会社に正会員としての入会のお願いをしてきました。今後、機が熟せば入会していただける可能性は高いと思われます。また、土壌汚染対策法（平成15年2月15日施行）に伴う土壌汚染調査に関連して、当協会会員である地質（土質）調査会社はもとより物探専門会社や化学分析会社、さらに土壌洗浄・廃棄処分会社（建設会社等）に賛助会員としての入会をお願いしました。その結果、賛助会員1社（株式会社ジオフィール：代表取締役社長 斉藤猛氏）を獲得することができました。会員の増強は、協会活動として重要事項であるので、委員会活動は今期は継続することにし、賛助会員に重点をおいた増強活動と充実した配布資料の作成（必要に応じて各委員会にも資料作成をお願いする）を行なっていくことにしました。

（会員増強特別委員長 早田 守廣）

トピックス(協会行事紹介)

9月1日 東京都・日野市合同総合防災訓練
(災害時の帰宅困難者対策行事)



「あなたは歩いて帰れますか？」

帰宅困難者徒歩訓練参加

防災訓練の中で、大地震による交通機関等の停止により、帰宅が困難になったことを想定した徒歩訓練が毎年この時期に行われ、協会有志(9名)が参加しました。

JR日野駅そば宝泉寺に朝9時前に集合し、都職員の説明指導により、甲州街道・多摩都市モノレール下を通過して、多摩川グラウンド会場までの約4Kmを集団をつくってテクテクと歩き全員昼前に完歩しました。会場のテント周辺で休憩しながら、防災展示、実演を体験し、炊き出し食をもらい満腹?になったところで会場を移動し、石原都知事らの講評等を聞き、その後流れ解散となりました。有志一同最寄駅(立川)前にて「おつかれ反省会?」をやって無事終了しました。



(総務委員長 佐藤 孝治)

東京都 2003 技術フォーラム

東京都2003技術フォーラムは、平成15年11月14日(金)池袋の測量地質健保会館大会議室において開催しました。



当日は、協会会員、賛助会員20社63名のほか、本協会理事で東京大学生産技術研究所の若松先生、多摩市および八王子市からも関係部署職員のご参加いただきました。当日は特別講演として、前東京都土木技術研究所技術部長の杉本隆男氏をお招きして「地下水流動保全アセスメントと東京の対策事例」と題し、ご自身の貴重な経験に基づいた建設工事における地下水障害事例と地下水流動保全工法についてご講演をいただくとともに、3つのセッションに分かれて12編の発表がおこなわれました。



午前中の第1セッションは表面波探査による緩み調査事例、ボアホールテレビの紹介や前方探査システムに関する研究紹介、室内止水実験に関する発表が、第

2セッションは現場作業、水中作業の効率化や地すべり観測におけるIT孔内傾斜計や傾斜計設置の問題点が、また午後からの第3セッションでは土壌水分センサによる浸透測定、セメントスラリーによる遮水性の改良試験に関する報告のほか最近の環境問題に対する高まりを反映してポータブル蛍光X線装置を用いた土壌重金属汚染の簡易分析に関する発表が2編ありました。

いずれの発表も大変興味深い内容で、15分の発表時間内で十分に収まらないほどの活発な質疑応答や議論がなされました。

また午後の最初には、「東京都地質調査業協会技術委員会の活動紹介」と題して、大竹技術委員長より委員会の活動内容の紹介と当委員会への技術者の参加の呼びかけがありました。

フォーラム終了後は、場所を東方会館1階のレストラン「セラリ」に移し、57名のご参加をいただいて盛大にレセプションが開催されました。

最後に、お忙しい中本フォーラムに参加された各社の皆様、貴重な発表をお寄せいただいた講演者の各位に厚くお礼申し上げます。



技術者懇親会パーティ
(於：東方会館 レストラン「セラリ」)

(技術委員 棚瀬充史)

2003東京国際消防防災展に参加して



江東区有明の東京ビッグサイト(東京国際展示場)において、2003東京国際消防防災展が、消防防災意識国際都市東京の安全と安心を高めることと世界に向けて防災機器・システムに関する情報を発することを目的に、11月20日から23日の3日間で開催されました。

当協会も関東協会と共同で三宅島噴火・阪神大震災の写真および東京の地震災害に関するパネル展示と技術ノート・パンフレットなどの配布で専用ブースを解説して参加しました。リアルタイム地震情報利用協議会と我々のブースを除くと消防機器関連企業の出展がほとんどで何となく場違いな気もしましたが、私が説明員として会場にいた時にはそこそこの方々が立ち寄ってくれましたので安心しました。

隣には横田基地の消防隊の大規模なブースがあり、実物の消防車が展示されていたり、消防隊のオモチャのヘルメットを無料で配布し、Tシャツを販売するなど消防関係者を主体に多くの来場者を集めており、ついでにわが協会のブースに立ち寄る方もおりました。当ブースに立ち寄られた方々は、震災に関する不安があるようで、パネルやパンフレットを真剣に見ている方がおり、そのような方は必ず地震に関連する質問をされ、防災に対する意識の高まりを感じました。

(技術委員 前原俊春)

賛助会員紹介

データ化の時代に最も的確な
プランとアイデアをご提案しています。

<業務案内>

★ CD-ROM、DVD制作

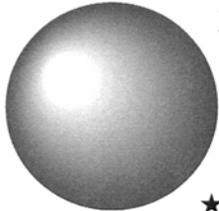
★ Web制作

ホームページ制作からメンテナンスまで

★ DTP制作

業界新聞、教科書、ポスター、パンフレット、
カタログ、会社案内、チラシなど

★ システムコンサルティング&サポート
システム開発・設計、プログラム開発



株式会社 アドメディア

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-9-8 蔵町ビル3F
TEL. 03-3219-8235 FAX. 03-3219-6748
<http://www.addmedia.co.jp>

有限会社 榎本精機

〔営業品目〕

推進工事 (下水道・電気・ガス・その他、小口径推進工事)
関連資材製造販売

ボーリング (地質調査・作井・その他) 資材製造販売
その他 関連省略機器設計製作

〒190-0034

東京都立川市西砂町 6 - 20 - 3

Tel: 0425-31-1292 Fax: 0425-31-2717

コピー スキャニング 電子納品

弊社では、コピー(大型含む)・製本・スキャニング・電子納品・CAD
作成等さまざまな業務を一貫して行っております。
ぜひ、お気軽にお問い合わせください。見積り等いたします。

株式会社 サンライズ

〒101-0061 東京都千代田区三崎町二丁目17番1号
藤沢第二ビル3・4F
TEL: 03 (3264) 4348 (代) FAX: 03 (3264) 4349 (番)
E-Mail: sanraize@tky2.3web.ne.jp
URL <http://www2.tky.3web.ne.jp/~sanraize/>
担当: 土松 俊一
CALIS/ECインストラクター(RCI)取得

株式会社 ジオフィール

〔営業種目〕

弾性波探査・・・屈折法地震探査, 浅層反射法地震探査,
弾性波トモグラフィー, 表面波法探査

電気探査・・・垂直法探査, 比抵抗二次元探査,
トモグラフィー, 接地抵抗測定

物理検層・・・速度検層, サスペンション検層, 電気検層,
温度検層, 密度検層, 地下水検層,
孔内載荷試験

その他・・・地下レーダ探査, 磁気探査, 常時微動測定,
放射能探査, 振動騒音測定, 打診音調査,
地表踏査, 土質調査, 鉄道・道路防災点検

〒111-0032

東京都台東区浅草 5 - 33 - 1

TEL: 03-5603-1151 FAX: 03-5603-1152

E-mail: geofile@tctv.ne.jp

株式会社 田中土質基礎研究所

業務内容: 室内土質試験 (力学・物理・化学・安定化)

弊社は室内土質試験専門の会社として実績と信頼を築いて参りましたが、この度 ISO9001/2000 年度版を認証取得致しまして、より高品質のものをご提供できると考えております。尚、最近需要が高まっています電子納品にも力を入れておりますので宜しくお願ひ致します。

URL: <http://www.tanaka-slabo.co.jp/>

Email: juchu@tanaka-slabo.co.jp

〒206-0802

東京都稲城市東長沼 1702 番地 5

Tel.042-378-5161 Fax.042-378-5119



テクノインターナショナル株式会社

〔主な業務〕

受託環境調査およびサンプリング業務

現場ガスクロ分析 サンプリング, 土間コンコア抜き,
簡易ボーリング コンター図作成

環境調査機器・機材の販売

米国 SRI 社 ガスクロマトグラフ 米国 Inficon 社 GC-MS
"HAPSITE" 米国 Forestry 社 サンプリング機材

環境調査用機器機材のレンタル

ラボカー, ガスクロマトグラフ, ボーリング機及び機材,
サンプリング機材

〒168-0064

東京都杉並区永福 4 19 6 B1

Tel: 03-5376-0030 Fax: 03-5376-1999

URL: <http://www.technointer.com>

E-mail: info@technointer.com

水上架設工事一式

鋼製橋 ・ スパット台船 ・ パイプ橋
 水上クレーン台船 ・ 曳船
 作業船 ・ 警戒船他
 磁気探査 (陸上架設可)

株式会社 **なわ さだ** 縄 定 (担当: 竹内)

港南営業所 : 東京都港区港南5-11-5
 : TEL 03-3471-8837
 海上架設部 : TEL 03-3471-9367

山岳ボーリングの資材運搬に最適!

急傾斜地の山越え, 谷越えも
 思いのままに . . .

モノレール鋼機の「モノレーター」
 架設工事・リース・販売

モノレール鋼機有限会社

本 社 〒420-0944 静岡市新伝馬 1-2-50
 TEL 054-252-2871 FAX 054-252-2856

関東支店 〒167-0021 杉並区井草 1-5-2
 TEL 03-3301-6036 FAX 03-3301-6022
 E-mail : mrk-kanto@jcom.home.ne.jp

◆ モニー物探株式会社 ◆

【主な業務】

- * 高精度弾性波探査
- * 高精度表面波探査
- * サスペンション式PS検層
- * 各種物理検層 (PS, 電気, 密度, 温度, 口径)
- * 比抵抗映像法
- * 電気探査 (水平, 垂直)
- * 1m地温探査

◎ まず安全で, 迅速に, 正確で, 誠実に, 安価をモットーに
 小さな現場も北海道から沖縄まで日本各地へ伺います。
 火薬使用の多チャンネル弾性波は最大120chの実績を持ち
 記録、発破の後始末は確実です。又高精度表面波探査は
 平成15年の開発初期から作動して高評価を得ています。

〒175-0083 板橋区徳丸1-56-4
 TEL:03-5398-6831 FAX:03-5398-6832

E-mail:mony@syd.odn.ne.jp (担当:長尾)

「技術ノート」のご紹介

技術ノートは、当協会技術委員会が技術情報誌として昭和62年12月に創刊号を発行して以来、平成14年10月現在で第35号に達しています。

東京を舞台とする様々な話題の中に地形、地質との関連又は基礎工学的な話を織り込みながらその歴史や現在を伝える内容となっています。



技術ノート既刊リスト

No.	タイトル	発行年月	備考
1	東京都の地形区分図・地質断面図	S62.12	
2	超高層ビルの地質と基礎形式	S63. 3	*
3	江戸城なりたち、その地形・地質との関係	S63. 7	
4	東京湾の埋立、その歴史	S63.10	
5	東京の川と水	H 1. 3	*
6	建築基礎工法の変遷、その地質との関係	H 1. 8	
7	隅田川の橋、その地質と基礎形式	H 1.12	
8	東京の地下鉄	H 2. 5	
9	東京の石	H 2.11	
10	新東京都庁舎	H 3. 3	
11	東京の遺跡	H 3. 7	
12	東京の高速道路	H 3.12	
13	東京の温泉	H 4. 3	
14	都内の庭園	H 4. 9	
15	山手線	H 5. 3	
16	東京のベイエリア	H 5.10	
17	東京の下水道	H 6. 3	
18	東京のエネルギー	H 6. 9	
19	東京の山	H 7. 3	
20	東京の上水道	H 7. 9	
21	東京の低地	H 8. 3	
22	東京の運河	H 8.10	
23	東京のトンネル	H 9. 3	
24	東京の防災	H 9. 9	
25	東京の川・神田川	H10. 3	
26	東京の台地	H10.10	
27	東京の道	H10.12	
28	東京の水辺	H11. 3	
29	東京のまちなみ	H11.10	
30	首都圏を支える鉄道網	H12. 3	
31	東京の公園	H12. 9	
32	東京のお酒	H13. 3	
33	三宅島	H13. 9	
34	大江戸線	H14. 3	
35	東京の野菜	H14.10	*

備考欄に「*」のあるものは、在庫無し。

その他のバックナンバーについては、実費にて頒布いたします。
 ご希望の場合は、協会事務局(TEL:03-3252-2963)までご連絡下さい。

行事日程

日程	行事名・内容等
11月20日(木) ~ 23日(日)	2003東京国際消防防災展 (パネル展示出展) 場所：東京ビッグサイト
11月27日(木)	理事会・全体委員会
1月24日(土)	多摩市防災講演会 場所：多摩市役所 講師：東京都立大学大学院理学研究科 教授 山崎 晴雄 氏(協会理事) 受講予定：百数十名
3月17日(水)	葛飾区防災講演会 場所：高砂地区センター 講師：東京大学生産技術研究所 主任研究員 若松 加寿江 氏 (協会理事)

会員(正会員・賛助会員)動静

(1) 会員の退会(平成15年12月31日)

日建コンサルタンツ株式会社 東京支店

(2) 代表者及び住所の変更の件

- 代表者変更 -

・(株)土質基礎研究所

代表者：[新] 辻 勉 氏

[旧] 石川 武三郎 氏

・(株)東京ソイルリサーチ

代表者：[新] 益子 恵治 氏

[旧] 大槻 修 氏

- 代表者及び住所変更 -

・(株)ジオ・コンサルタント 東京支店

代表者：[新] 原 二郎 氏

[旧] 岸 允 氏

所在地：〒114-0001

東京都北区東十条4-5-13

TEL: 03-5902-3255 (変更なし)

FAX: 03-5902-3256 (変更なし)

・編集後記・

秋の恒例行事である「東京都 2003 技術フォーラム」も成功裡に終わり、理事会・全体委員会の報告会が開催されたらもう季節は師走になっていました。創刊号を発行してはや4ヶ月、第2号を編集しなければならない時期に来てしまい、慌ただしく誌面レイアウトに頭を痛めています。創刊号と同じような記事構成でいく方針には変わらないとしても、それ以上に会員間の理解と普及啓発の意味をこめて「会員紹介」の欄を設けてみました。今回は「賛助会員の紹介」としました。会員間の理解と利用が進めば喜ばしいことと考えています。

さらに財政上厳しい折、よりよい要望を受け協会の地位を高めるためにも、巻頭の副会長が述べているように会員の増大につながる「誌面づくり」にしたいと考えています。今後は会員からの声、投稿記事を受け入れて協会報の充実を図っていきたく編集・発行スタッフ一同念じておりますので、どうぞよろしく御協力下さい。



東地協ニュース 2003.冬 第2号

発行・編集 (社)東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp

